



平成 25 年 3 月 26 日

各 位

会社名 本州化学工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 船越 良幸  
(コード番号 4115 東証第 2 部)  
問合せ先 経理部長 和智 達也  
(TEL 03-3272-1482)

## 業績予想の修正及び次期の見通しに関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 24 年 9 月 25 日公表した平成 25 年 3 月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。併せて、次期の見通し（平成 26 年 3 月期通期）につきましてもお知らせいたします。

記

### 1. 業績予想の修正について

#### (1) 連結業績予想数値の修正

平成 25 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成 24 年 9 月 25 日発表)	16,000	1,100	1,050	570	49.65
今回修正予想(B)	15,400	500	500	250	21.77
増減額(B-A)	△600	△600	△550	△320	
増減率(%)	△3.8	△54.5	△52.4	△56.1	
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 3 月期)	16,339	1,533	1,498	766	66.74

#### (2) 修正の理由

平成 25 年 3 月期においては、平成 24 年 4 月 22 日に発生した三井化学株式会社岩国大竹工場の爆発・火災事故により、当社製品の主要原料であるメタパラクレゾールの供給が停止し、当社のコア事業のひとつであるクレゾール誘導品の生産・販売面において大きな影響を受けたため、当社は売上高及び利益とも大幅な減少を余儀なくされました。

また、当社主力製品と関連の深い I T ・デジタル家電分野において薄型テレビやパソコン等の生産・在庫調整により大幅に減退していた需要が、第 3 四半期（平成 24 年 10 月～12 月）に入り、ようやく一部復調の兆しがみられたものの、その後の需要回復への動きは前回公表時（平成 24 年 9 月 25 日）に想定していたものよりも鈍く、総じて当社の販売は低調のまま推移することとなりました。

このような状況の中で、当社グループは、主力製品の販路拡大や新規製品・用途の開発促進、和歌山工場の合理化を始めとした経営全般にわたるコストダウンの徹底強化など、業績の改善に全力を傾注してまいりました。

しかしながら、上記の要因により落ち込んだ業績を十分に回復するまでには至らず、前回公表した業績予想を大きく乖離する見通しとなったため、上記のとおり業績予想の修正を行うことといたしました。

なお、当社は、業績や財務状況を総合的に勘案のうえ安定的な配当を継続的に実施することを基本方針としており、この方針に沿って配当額を決定しておりますが、後述の次期（平成 26 年 3 月期）の業績見通し等も踏まえ、今回の業績予想の修正に伴う平成 25 年 3 月期の配当予想の修正は行わないこととし、期末配当金として 1 株につき 10 円（既の実施した中間配当金と合わせて年間配当金 1 株につき 16 円）を予定しております。

## 2. 次期の見通し（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

次期（平成 26 年 3 月期）におきましては、主要原料であるメタパラクレゾールの供給が全面的に復旧（平成 24 年 10 月より部分的に供給再開）する予定であり、平成 25 年 3 月期において大きく落ち込んだ当社主力事業のクレゾール誘導品の販売は、例年ベースの状態に回復するものと見込まれます。

また、経済動向につきましては、円高の是正による輸出環境の改善や経済対策の効果等を背景とした景気の回復が見込まれており、これまで低調であった IT・デジタル家電製品の需要は回復傾向に向かうものと予測され、これに伴い当社の主力関連製品の販売も上向くものと予想されます。

このような見通しのなかで、当社グループは、さらなる業績の改善を図るため、競争力・収益力向上に向けた経営全般にわたるコストダウンを継続して実施していくとともに、コア製品を中心とした既存製品の販売の拡充強化、新規製品の開発促進・早期市場投入、交易条件の改善などに鋭意取り組んでまいります。

平成 26 年 3 月期の連結業績予想（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）につきましては、次表のとおりであります。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
平成 26 年 3 月期 通期連結予想数値	17,900	1,400	1,350	750	65.32

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。